

建設長崎大運動会開催のお知らせ

とき 平成24年10月21日(日)

午前10時開会

ところ 琴海中部運動公園

(長崎市長浦町)※雨天の場合は中止

建設長崎

September
No.567

2012年9月15日

1部20円 組合員の購読料は組合費に含まれます

印刷●(株)昭和堂 TEL 095-821-1234

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市長山町17番58号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 <http://www.kensetunagasaki.org/> 発行責任者●北村政和 編集人●若杉孝雄



▲大村市長に御礼を兼ね表敬訪問

大村市 9月議会 補正三、八〇〇万円 村上のぶゆき市議も一般質問

工事費の一部を自治体が補助する「住宅リフォーム助成制度」が大村市でも平成二十四年四月から県内で八番目に実現されました。当面の予算として二千万円が計上され、申込も順調に伸び市内経済の活性化、既存住宅の質の向上、そしてお年よりも健康に生活できる事を目的として、活用されています。実際の申込も当初予算の二千万円が開始三月後の七月には消化し、九月議会



で補正予算として三千八百万円が追加されました。また、八月二十八日には組合推薦議員とともに次年度以降も継続確保できるよう大村市長を表敬訪問し要請を行いました。

長与町でも住宅リフォーム助成事業始まる 9/3～

●申請できる方(補助対象者)

次の条件をすべて満たす方

- ・長与町内のリフォームを行う住宅に居住している人。
- ※住宅の所有者が本人又は2親等以内の親族。
- ※長与町に住民登録がある人。
- ・町税を滞納していないこと。
- ・同一の住宅に関し、この補助金を受けたことがないこと。(助成は1回限り)

●補助対象となるリフォーム工事(補助対象工事)

次の条件をすべて満たす工事

- ・対象となる工事で1件当たりの工事費が**20万円(税抜き)以上**の工事。
- ・平成25年3月末までに完了する工事。
- ・町内に事業所を有する個人事業主又は町内に本店又は支店等を有する法人が施工する工事。
- ※注意：補助金の交付決定前に工事に着手した場合は補助対象となりません。

●補助金額

- ・補助対象となる**工事費の10%を補助**。(千円未満切り捨て) **限度額は10万円**。
- ※当補助金は、予算が無くなり次第終了させていただきます。

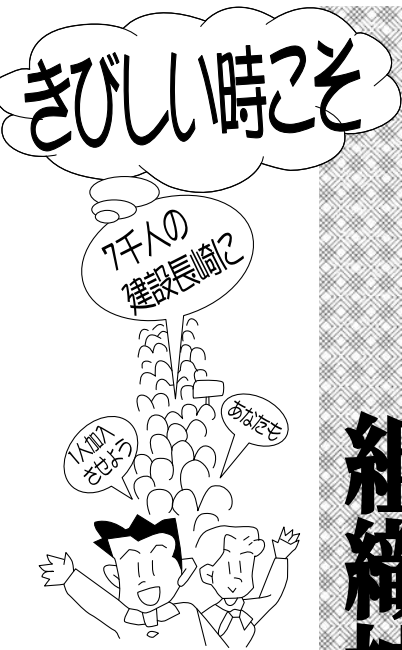
●申請受付期間・場所

- ・平成24年9月3日(月)から受け付け開始。
- ・申請場所：長与町役場 地域政策課
(長与町嬉里郷659-1 TEL095-883-1111)
- ※直接、窓口申請書を提出してください(郵送・電子メール不可)。

住宅リフォーム助成制度の創設、拡充を図るぞう!

去る七月一日に開催された建設長崎第六十七回定期大会で「長崎県及び全市町に住宅リフォーム助成を創設、拡充させ、仕事確保を図り、組織拡大につなげよう」をメインスローガンに、具体

後、二ヶ月余り頑張つて成果を出そう。



的な運動を展開するために、県下十五支部の大会を開催し、新年度の具体的な行動を提起し、全体で決意を確認し、拡大行動を展開していきます。各支部では、支部毎に昼間、夜間の行動を設定し、組織点検も兼ねて「ふれあい行動」そして「拡大行動」を展開していきます。前期拡大行動は十一月末日が締切です。後、二、三名の拡大で目標を達成する支部もあります。



▲現場廻りをする佐世保北支部の仲間

前期拡大行動(9月～11月) 180名拡大目標達成に向け

支部名		前期目標
中	央	11
大	浦	7
市	南	11
東	長	11
浦	上	16
浦	上	8
西	彼	15
諫	早	18
大	村	11
島	原	11
佐世保中央		16
佐世保東		15
佐世保北		13
北	松	10
平	戸	7
合 計		180

行動して 成果を

私たちの仕事と暮らしを守る為にも組織を強く大きくすることが要求実現の早道です。厳しいけれど仲間と共に組合新加入に邁進しましょう。ぜひ、あなたのご紹介をお待ちしています。

中央支部

開催日 八月三十一日(金)
会場 地区労会館二階
参加者 七十五名
支部長 内野 幸雄(大工)
副支部長 本多 常秋(型枠工)
" 山口 龍志(左官)
" 樋口 正人(大工)
" 石橋 廣喜(大工)
書記長 若杉 孝雄(専従)
担当 森 一公(専従)



大浦支部

開催日 九月五日(水)
会場 大浦区民センター
参加者 四十七名
支部長 田上 義高(大工)
副支部長 平山 正則(大工)
" 北村 五男(左官)
" 諸山 克吉(型枠工)
" 島田 時治(大工)
書記長 若杉 孝雄(専従)
担当 森 一公(専従)

市南支部

開催日 九月十日(月)
会場 長崎南商工会
参加者 六十四名
支部長 山本 秀夫(大工)
副支部長 葛島 俊幸(大工)
" 小宮 清治(大工)
" 小泉 雄義(大工)
" 中島 善明(大工)
書記長 森 一公(専従)

東長崎支部

開催日 九月三日(月)
会場 JA古賀
参加者 四十九名
支部長 牧島 貢(大工)
副支部長 里 澄宏(大工)
" 岩永 和範(左官)
" 本村美喜男(大工)
" 尾上 正範(左官)
書記長 江頭 孝一(専従)



佐世保北支部

開催日 八月二十七日(月)
会場 中里喜瀬地区公民館
参加者 七十六名
支部長 小林 健治(大工)
副支部長 福田 栄治(大工)
" 柚元 美則(大工)
" 松尾 正明(大工)
" 松山 新二(大工)
書記長 小野 猛範(専従)



北松支部

開催日 八月三十一日(火)
会場 サンパーク吉井
参加者 七十二名
支部長 須藤 輝久(大工)
副支部長 近藤 力也(大工)
" 坂中 善男(左官)
" 萩原 正清(大工)
" 池本 勇彦(型枠工)
書記長 洲上 武司(専従)

各支部大会開く

総数延九六五名が出席

建設長崎第六十七回定期大会後、各支部は八月二十日の島原支部大会を皮切りに、九月十一日の西彼支部大会で県下十五支部の全ての支部大会が終了し、新体制がスタートしました。



浦上西支部

開催日 九月四日(火)
会場 組合本部
参加者 七十五名
支部長 古川 勝(左官)
副支部長 村岡 広明(左官)
" 佐藤 昭彦(型枠工)
" 井上 義満(大工)
" 木下 広次(大工)
" 山崎 司(大工)
" 山形 信(大工)
書記長 池田 剛(専従)

浦上東支部

開催日 八月二十八日(火)
会場 組合本部
参加者 四十三名
支部長 田中 秀則(左官)
副支部長 森 政一(大工)
" 杉山 達美(左官)
" 田川 和博(大工)
" 松田 隆人(土木)
" 田崎 順一(型枠工)
" 野口 耕平(内装)
書記長 石田 哲雄(専従)



西彼支部

開催日 九月十一日(火)
会場 時津町北部コミュニティセンター
参加者 七十二名
支部長 松林 満男(左官)
副支部長 植田 勝次(瓦工)
" 井手 保(左官)
" 岩崎喜三郎(大工)
" 山中 茂(大工)
書記長 松園 俊輔(専従)



諫早支部

開催日 九月七日(金)
会場 諫早勤労者福祉会館
参加者 七十六名
支部長 樋口 義雄(大工)
副支部長 木下 忠明(大工)
" 田崎 義光(大工)
" 石丸 久大(大工)
" 中村 太司(大工)
" 後田 博幸(建具)
書記長 大賀 修司(専従)



大村支部

開催日 八月二十四日(金)
会場 支部事務所
参加者 七十四名
支部長 伊藤 一廣(大工)
副支部長 福田 通(建設)
" 平内 末雄(左官)
" 上野美喜雄(大工)
" 川田 洋一(大工)
" 緒方 末広(大工)
" 中尾 政男(大工)
書記長 井関 一幸(専従)

島原支部

開催日 八月二〇(月)
会場 ウエディング石川
参加者 三十四名
支部長 木之田 隆(大工)
副支部長 本田 岩勝(大工)
" 山田 哲夫(大工)
" 菅 進(大工)
書記長 立野 靖也(専従)



佐世保中央支部

開催日 八月二十二日(水)
会場 JAささば
参加者 六十七名
支部長 塚本 芳美(大工)
副支部長 末吉 重一(大工)
" 田中 清士(内装)
" 川元 俊彦(大工)
" 川畑 章(型枠工)
" 本田 秀樹(型枠工)
" 西平 博之(専従)
" 小野 猛範(専従)
" 古井 宏樹(専従)
" 坂口 友廣(専従)

佐世保東支部

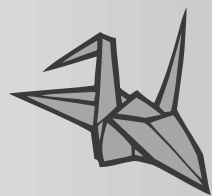
開催日 八月二十九日(水)
会場 広田地区公民館
参加者 七十三名
支部長 茅原喜志男(土木)
副支部長 長島 則行(大工)
" 田中 秀幸(左官)
" 小谷 守(大工)
" 迎 稔(大工)
" 天羽 靖雄(大工)
書記長 古井 宏樹(専従)



平戸支部

開催日 八月三〇日(木)
会場 平戸海上ホテル
参加者 六十八名
支部長 寺田 孝弘(大工)
副支部長 林 敏英(大工)
" 岡田 眞(左官)
" 大石 義孝(大工)
書記長 洲上 武司(専従)

平和への祈りと核廃絶に向けて



原爆殉難者慰霊祭

一発の原子爆弾が長崎上空に投下されて六十七年目の夏を迎えました。灼熱の閃光と爆風は瞬時にして多くの尊い命を絶ち、その放射能に苦しめられた多くの人々は、今も尚その後遺症に苦しめられています。

建設長崎では、恒久平和を願い、「二度と核兵器を使わせない」「核と人間は共存できない」と、平和の大切さを訴える平和活動を行っています。

八月八日「原爆殉難者慰霊祭」が原爆公園内の不戦平和の塔前で執り行われました。前十一時二分に参列者全員で原爆犠牲者に対して黙祷を捧げました。その後、全長崎相川執行委員長が、それぞれ代表献花を行いました。続いて、水を求めて亡くなられた犠牲者の魂を鎮め



(相川執行委員長)



(全建総連古市書記長)

最後に、参加した組合員・被爆者・全建総連の仲間百三十名全員で、白菊を献花し、原爆犠牲者の御霊に祈りを捧げました。

慰霊のことばでは、相川委員長は「東北大地震による原発事故から一年以上が経過したもの、その被害状況の全体把握は今もできておらず、人類と核は共存できないという事が改めて証明された。今後も、核の無い世界を訴え続けたい」と述べました。

▼各地の名水を献水
ようと、県下十五支部、そして全国の仲間から寄せられた名水の献水と、平和の祈りが込められた折鶴の献納が各代表の手によって行われました。



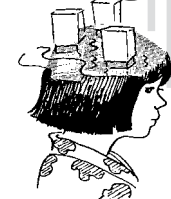
恒久平和の願いを込めて



▼全国から寄せられた折鶴



浦上川万灯流し



八月九日、浦上川に架かる梁橋のたもとで、原爆犠牲者の慰霊と恒久平和の願いを込めて「浦上川万灯流し」を行いました。

原爆殉難者慰霊奉賛会や城山地区自治会に、建設長崎も協賛し、今回で十七回目を数えます。

当日は午後五時から、浦上西支部を中心とした長崎市内の組合員・主婦会・書記局合わせて約五〇名の参加者が、筏を組み、子供達の手で運ばれてきた万灯を取り付け、多くの人が見守る中、核廃絶や平和への想いを込めた鎮魂の灯火は、浦上川の水面を静かに流れていきました。



療養付加金、傷病手当金の見直しについて

「平成25年4月1日実施予定」

厚生労働省は平成23年度の国保組合へ補助金見直しに絡み、療養付加金（償還払い）制度を実施している国保組合に対する調整補助金の交付基準を決定し、『①自己負担の全額償還の見直しを行わない国保組合に対しては、平成23年度より特別調整補助金（保険者機能分）を廃止。②自己負担額をレセプト1件当たり17,500円以上としない国保組合は、平成26年度以降特別調整補助金（保険者機能分）を廃止する。』ことを全国保組合へ通達しました。

したがって長建国保は、本年2月27日開催の第84回組合会で、現在実施している療養付加金の自己負担額を平成25年4月より見直すことを決定しました。

療養付加金制度の自己負担額の見直しの内容

●現行制度

各診療月（同月内）において当該組合員が療養の給付を受ける際に支払った一部負担額の月額が、各医療機関等より請求される診療報酬明細書（レセプト）1件につき、高額療養費を差し引いた額が、1. **入院**に要する療養の給付を受けた場合**3,000円**、2. **外来**に要する療養の給付を受けた場合**2,400円**、3. **調剤**に要する療養の給付を受けた場合**600円**を超えた額を支給する。



●今回の見直し（平成25年4月1日実施予定）

各診療月（同月内）において当該組合員が療養の給付を受ける際に支払った一部負担額の月額が、各医療機関等より請求される診療報酬明細書（レセプト）1件につき、高額療養費を差し引いた額が、1. **医療（入院・外来・調剤）**に要する療養給付を受けた場合**18,000円**を超えた額を支給する。

傷病手当金の見直し

●現行制度

当該組合員が療養を受けている場合、療養のため労務に服することができないときは、第4日目から1日につき**3,000円**、を支給する。（同一疾病等につき最高60日分を限度に支給）



●今回の見直し（平成25年4月1日実施予定）

当該組合員が療養を受けている場合、療養のため労務に服することができないときは、第4日目から1日につき**4,000円**、を支給する。（同一疾病等につき最高60日分を限度に支給）

長建国保 平成23年度歳入歳出決算額

（単位：円）

歳 入			歳 出		
科 目	決 算 額	割合	科 目	決 算 額	割合
1. 国民健康保険料	1,458,274,200	31.0	1. 組 合 会 費	2,778,230	0.1
2. 手 数 料	0		2. 総 務 費	97,621,712	2.5
3. 国 庫 支 出 金	2,322,604,243	49.3	3. 保 健 給 付 費	2,453,587,988	63.3
4. 前期高齢者交付金	0		4. 後期高齢者支援金	588,370,859	15.2
5. 県 支 出 金	0		5. 前期高齢者納付金	226,814,991	5.9
6. 共同事業交付金	80,068,000	1.7	6. 老人保健拠出金	33,078	0.0
7. 財 産 収 入	508,192	0.0	7. 介 護 納 付 金	346,105,542	8.9
8. 寄 附 金	0		8. 共同事業拠出金	35,448,000	0.9
9. 繰 入 金	0		9. 保 険 事 業 費	61,885,054	1.6
10. 繰 越 金	839,975,573	17.8	10. 積 立 金	0	0.0
11. 諸 収 入	8,852,405	0.2	11. 公 債 費	0	0.0
			12. 諸 支 出 金	63,447,642	1.6
			13. 予 備 費	0	
歳入合計	4,710,282,613	100	歳出合計	3,876,093,096	100

1. 歳入・歳出差引剰余金 834,189,517円

組合指定温泉施設の追加のお知らせ

長建国保では9月より新たに『やすらぎ伊王島』を指定温泉施設として契約。

大人料金で、補助券を適用すると自己負担330円で入浴出来ます。（入湯税30円含む）

やすらぎ伊王島（平成24年9月現在）

◆所在地 長崎県長崎市伊王島町1丁目3277-7

◆電 話 095-898-2202

◆施設概要

天然温泉、大浴場、酵素風呂、ランチバイキング など

◆営業時間 6:00～翌0:00（駐車場9:00～22:00）

◆定休日 なし

◆利用料金 **メンバーズカード 国保補助**

	規定料金	割引額	補助券額	利用者負担額
大 人	730円	△100円	△300円	330円
子 供	350円	—	—	350円

※その他詳細につきましては温泉施設の方へ直接ご確認下さい。

長建国保だより

平成23年度事業報告・決算・新役員決定



第85回長建国保組合会（七月三十一日）

去る七月三十一日（火）長崎市筑後町のセントヒル長崎において各支部選出の組合会議員二十七名、定数四十名の出席で第八十五回組合会が開催され、平成二十三年事業報告、並びに平成二十三年度決算、任期満了に伴う役員、組合会議員の改選など、提案された全議案が承認されました。

開会に当り、御礼と、決算状況、特定健康相川哲男理事 診、就労調査など組むべき長より挨拶があり、来年度の国保組合補助金に対する 議事は、東長崎支部の岩永和範議長（左宣）の進行で平成二十三年度事業報告、概算要求の動向や補助金のハガキ要請への取組みへの

す等の処分案が決定されました。

となりました。

なお、前年度繰越金と国庫補助超過交付を差し引いた単年度収支は、当初補助金の見直しや医療費の上昇で約二億円程度の赤字を見込んでいましたが、前年度並の国庫補助金の確保等により約九千万円程度の赤字に止まっています。

また任期満了に伴う役員、議員の改選については、組織減少に伴い議員定数が四十二名から三十八名に、役員については、監事が四名から三名に改められ、各支部から新たに選出されることとなり、二十五年度予算編成

本年二月の組合会（第八十四回）で決定された来年四月からの療養付加金の支給額見直し（レセプト一件当たり自己負担額一八、〇〇〇円以上を支給）に伴い自己負担増を補うため、傷病手当金の支給額を「現行一且三千円を四千元千円引上げとする。」案が協議

療養付加金の見直し（二十五年四月）に伴う傷病手当金見直し等を検討

平成二十三年歳入歳出決算状況

医療費の支出状況は、本人の入院医療費が前年比一五・八％増と大きく増加し、被保険者一人当たりの保険給付費は四・八四％増の二

時（来年二月）に療養付加金の一部改正を含め規約変更等を行うことを決定いたしました。

また、組織減少の対策として「保険料を引下げては」との意見もありましたが、高齢化による介護費用や医療費の支出増加、さらには国庫補助金の見直しによる財政状況を踏まえ、来年の予算編成時に検討を加えるが難しい状況であることが報告されました。

一方、国からの補助金は、昨年の交付額より五六七万六、〇〇〇円増となり全収入の約五〇％を占めている状況で、国保運営に最も重要な財源となっています。

歳入状況は、保険料収入が被保険者の減少で昨年より五、六六七万円減収となり収入全体の三二％となっています。

なお、科目3：保険給付費へ科目8：共同事業拠出金までの医療に係る支出額は、支出全体の九四・二％を占めています。

歳入状況は、保険料収入が被保険者の減少で昨年より五、六六七万円減収となり収入全体の三二％となっています。

大浦支部 戸町夏まつり協賛

組合の存在を
十分にアピール

大浦支部では、八月十八日(土)に戸町中学校グラウンドの一角をお借りして、住宅デーを開催しました。昨年は、開始直前より大雨が降りだし来場者が少なくなるのではないかと心配していたが、今年は一転して、残暑が厳しい中での開催となりました。取組内容としては、十二名の組員さんにご参加頂き、包丁砥二一本、親子木工教室(ガーデニングチェア作成)二十二組の作成を行いました。

毎年恒例となっている行事ですので、包丁研ぎを心

ご参加頂きました組員の方皆さん、非常に暑い中での作業で大変だったと思いますが、ご協力頂き、本当にありがとうございました。

〈参加者〉(敬称略)
工藤 是正 島田 時治
田上 義高 平山 宏三
北村 正則 川原喜久雄
竹崎 初雄 小野 義龍
古里 治夫 松尾 哲夫
島田 愛子



東長崎支部



子供より
親が夢中におもちゃ作り



住宅デー特集

各地域で
奉仕活動・木工教室



西彼支部 琴海分会

恒例行事として
地域に浸透

西彼支部琴海分会では、恒例となった住宅デーを八月二十六日(日)にJA村松・長浦・形上の三会場で開催しました。

昨年は、大雨警報が発令され、強風、雷雨の中での開催でしたが、

今年は晴天の中、開催することが出来ました。

年に一度の恒例行事として、三箇所に分かれての開催は、地域の方々に浸透しており、開始と同時にお客様が見えられました。

残暑厳しく、汗だくなりながら、受付けられた包丁を一本一本丁寧に研ぎ上げました。

昨年は雨の影響もあり、例年より少なかったですが、今年は昨年を大幅に超え、三箇所で三百五十九本の包丁を研ぎ上げました。

ご協力いただいた皆さん、大変お疲れ様でした。

(松園)

者の方は三十代、四十代の方が主で、この様なふれあい活動を通して顔馴染みになり地元職人という事をアピールする事が大事と感じました。

今回は、古賀小学校区母の会、高城台小学校区PTA役員によるチラシ配布、また市民センターの所長さんも協力的でキッズクラブにも貼り出して頂き、次も楽しみにしているとの事でした。

前準備や当日参加してくれたスタッフの皆さんお疲れ様でした。(支部長牧島)

〈参加者〉(敬称略)
井手 吉一 角崎 豊
山崎 康博 井手 正己
石橋 洗 山下 繁昌
神近 剛 山崎 春雄
森 進 高山 義廣
藤田 清 高木 公雄
岸川久美男 岑山 義徳
井手 一男 浦 勝彦
岳本 吉郎 前尾 辰美
山中 茂 松本 菊夫
相川 守 川崎 康夫
広瀬 安夫 辻 泰志
浦添 朝夫 相川 一吉
小野田国夫 太田 正利
岩下 敏昭 小山 哲男
石橋 忍 岩下 良博
林 一弘 毛利 初実
松林 満男 岩崎喜三郎
相川委員長 北村副委員長



西彼支部 時津連合分会

ふれあいの場として
実りある活動



西彼支部時津連合分会では、残暑厳しい八月二十六日(日)時津夏まつり会場において住宅デーを開催しました。

今年は、天気にも恵まれ、祭り会場らしく、和気あいあいとした雰囲気の中、開催することができました。

包丁研ぎと合わせて、親子木工教室(すのこ作り)も行っており、来て頂いたお客さんその名の通り親子で楽しんでいらっしやいました。

研ぎ上げた包丁は、百二十六本、すのこは八十一組作成しました。

毎年、夏祭り会場での開催に、地域の方々とのふれあいの場としてはとても実

りある結果となっていますが、仕事確保の面では中々成果を得る事が難しく、内容や開催場所など、今後工夫していく事が重要になってきていると感じました。

暑い中、ご協力いただいた皆さんに深く感謝申し上げます。

(松園)

〈参加者〉(敬称略)
植田 勝次 井手 保
濱本 勝之 中尾 豊
若杉 秀明 嶋本 清孝
森 翼 菅高 秀喜
川林 春男 堀口 留喜
松野 満 堀口 留喜
高見 賢一 松尾 哲朗
尾崎 勝 辻 昭
松本 文男 松林 満男
岩崎喜三郎 岩永 亀雄
濱本 久枝 溝上 啓子
植田ヤスエ 一瀬 博子
相川委員長 田上書記長

市南支部

海岸美化活動

&バーベキュー親睦会

残暑厳しい八月二十八日 岸美化活動を、高浜海水浴場で組員・家族あわせ



二十七日名の参加で実施しました。高浜海水浴場では、一週間前にビーチバレー大会が開催されたこともあって、ペットボトルなどの人工的なゴミは少ないようでしたが、木の枝や海藻などは所々あり、参加された皆さんは、照りつける太陽にも負けず、汗だくになりながら約一時間かけて、ゴミを拾い集めました。終了後は、昨年に引き続き、親睦バーベキュー大会を開催。清掃活動で渴いたのどを潤し、次々と焼き上がるお肉、野菜などを堪能。お酒も入り仲間同士の会話も弾み、和気あいあいとしたなか、仲間と楽しく交流を楽しんだ一日となりました。

(古井)

西彼支部

地域に浸透

長与連合分会住宅デー

西彼支部長と連合分会では、九月九日(日)農協果実場において住宅デーを開催しました。

(松園)

朝晩はだいぶ涼しくなり、秋の気配を感じてきていますが、当日は曇りで雨も心配され、湿度が高く蒸し暑い中での開催となりました。開始早々、多くの包丁、カマ、はさみ等が持ち込まれ、受付終了時間まで休憩する間もなく、一本一本丁寧に仕上げていきました。毎年恒例の行事で、地域

〈参加者〉	岩永 亀雄	山口 政好
岩崎 喜三郎	小串 民雄	
松林 満男	石川 明文	
濱本 孝博	毎熊 明夫	
中村 秀徳	脇川 雅隆	
迫 貴幸	尾崎 光生	
岩木 信義	加賀江岩太郎	
井手 保	松尾 哲朗	
若杉 秀明	嶋本 清孝	
中尾 豊	松林嘉代子	
濱本 静香	岡崎アイ子	
岩永 和子	北村副委員長	
相川委員長		

島原支部

納涼親睦会に一〇六名の参加

八月三十日(木)夜、島原の夏を締めくくる第二十回島原温泉ガマダス花火大会が



ありました。雲仙・普賢岳災害時の全国からの支援に対する感謝の気持ちを込めて平成五年から開催され、今年は節目の二十周年を迎え例年の六千発をしのぐ一万発が打ち上げられました。その日に合わせて島原支部では恒例の納涼親睦会を開催しています。支部の駐車場から花火が綺麗に見える

ので最高の花火スポットになっています。今年も(大人七十四名・子供三十二名・合計一〇六名)の方が参加しました。支部の駐車場にブルーシートとゴザを引きテープを置いてそこで花火を見ながら食事ができるよう、また、屋台は焼肉・焼きそばをおいしく食べられるように大きな鉄板を準備し、生ビール・カキ氷などの屋台も出しました。子供たち向けに福引き大会を開催して、会場はお祭り会場のようになりました。当日は台風の影響で雨予報になっており中止になるのかと心配されましたが、

(立野)



支部だより



佐世保中央支部

青年部 住宅デー

(包丁研ぎ)

佐世保中央支部は八月十九日(日)に県北総合会館駐車場にて住宅デーを行いました。当日は組員六名の参加で、朝九時より受付を開始し、包丁43本を、皆さん気持ちを進めながら丁寧に研ぎました。

真夏の暑い中の包丁研ぎとなりましたが、青年部員の子供さんたちがその場の雰囲気を楽しませ、あつという間に時間が過ぎました。

(坂口)

今回の住宅デーは事前にチラシを作成・配布を行いました。開催日が御盆明けということもあって出足

〈参加者〉	本田 英樹	大島 吉博
柿本 憲吾	塚本 剛志	
瀬尾 友謙	瀬尾 恒太	
小野 猛範	坂口 友廣	



各種作業主任者講習会開催予定表

木造建築物作業主任者講習会(講習期間2日間)		足場組立作業主任者講習会(講習期間2日間)	
開催期日	開催場所	開催期日	開催場所
平成24年 10月11日(木)12日(金)	大村支部	平成24年 12月13日(木)14日(金)	長崎建設技能会館

型枠作業主任者講習会(講習期間2日間)	
開催期日	開催場所
平成25年 2月14日(木)15日(金)	県北建設総合会館



*講習料 ①組員 6,000円 ②組員以外 8,000円
*講習時間 午前9時～午後5時迄
*各支部にて受付(他の資格保有者は主任者手帳を提出のこと)
申請書、写真2枚(サイズ2.5cm×3.0cm)
※各講習会の開催にあたっては、10名以上を原則とします。
※10名以下の少人数の場合は、他の講習機関での受講をお願いする場合があります。
※計画の内容については変更の可能性もありますので詳しくは建設長崎新聞をごらんください。または学院(095-861-9261)まで御連絡ください。

不景気の時代だからこそ (事務所周りに・仕事場に最適！)

仕事確保用看板を設置して自社をPR！



大きいサイズA1(ヨコ841m/m×タテ594m/m)

新築・増築から
リフォームまで

まじえて
まじえて

直接施工で低コスト、地元の工務店・職人だから施工後も安心

県下最大の建設技能者の集団 建設長崎組員

〇△建 築 ☎095-886-0△□〇

住まいのことなら
〇△建 築

地域住民の顔が見えるので
親切、ていねい。

設備・建築
お家を思い通りに
建てたい。
最新の設備を
取り入れたい。

電気工事
コンセントを増設したい。
エアコンの取り付けや
修理をしたい。

外まわり
家のまわりを
きれいにしたい。
カーポート、テラスも
取り付けてほしい。

内装・リフォーム
床をフローリングに
したい。
壁紙やサッシも
変えてみたい。
キッチンも
取り替えたい。

風呂・トイレ
お風呂をバスルームに
したい。
トイレの便器を
取り替えたい。

水まわり
洗面台を
シンクキッチンに
したい。

その他
シロアリ、害虫対策。
防犯カメラの
取り付け。
ハウスクリーニング。
お見積り無料。

お住まいに関する無料相談を実施中です。

社名・電話番号が入ります。

Aタイプ A1サイズ(841×594) 9,000円税込